

## 令和6年度 甲賀市防災会議の結果について

日 時：令和7年3月27日（木）  
9時00分～10時40分  
場 所：甲賀市役所3階 会議室301

### 1. 出席者数

委員数 47名（会長を除く）  
出席者 45名  
欠席者 2名

### 2. 傍聴者数

傍聴者1名、報道機関なし

### 3. 議事の進行

甲賀市長 岩永 裕貴

※議事の進行は、甲賀市防災会議条例第3条3項の規定により会長が行う。

### 4. 協議事項

#### (1) 甲賀市地域防災計画にかかる修正

- ① 滋賀県地域防災計画に準じた修正 新旧対照表1
- ② 最新の取り組み等を踏まえた修正
  - ・ 公共施設の新規開設に伴う早期開設避難場所の変更 資料1
    - 中核避難場所の内、「まる一む」を「みなくるプラザ」に変更
    - 地域避難場所の内、「柏木小学校体育館」を「柏木コミュニティセンター」に変更
  - ・ 自主避難場所の追加について 資料2
    - 現行の黄瀬公民館（さらら）が浸水想定エリアにあることから、新たに「東山避難所」を自主避難場所に設定
    - 稗谷地区では現在避難場所・避難所が無く分散避難となっていることから、新たに「希望ヶ丘コミュニティセンター」を自主避難場所に設定
  - ・ 二次開設避難所の追加について 資料3
    - 甲南第二学区付近には浸水エリアが多く大規模な避難所がなかったことから、新たに「三桜工業株式会社 滋賀事業所」を二次開設指定避難所に設定
  - ・ 指定福祉避難所の指定について 資料4
    - 新たに「社会福祉法人 洗心福祉会 甲賀シルバーケア豊壽園」を指定

③関係機関へ意見照会を行った結果を反映 新旧対照表 2

○主に誤記修正や時点修正、古いデータの更新等

《意見・質疑応答》

委員) 個別避難計画の作成において、ケアマネージャーの参画はありがたい。今後、トリアージが必要になってくると思われるため、その内容を明確にしてもらいたい。

委員) 指定福祉避難所の指定において、「家族等の支援者1名程度の受入れ」とあるが、その人を事前に決める必要があるのか。

→ (危機管理課) 主たる介護者(家族)として特定していない。

会長) その他ご意見ご質問がないため、異議なしと認め原案通り承認

2. 報告事項

(1) 令和6年度 災害対応結果について 資料 5

○8月8日からの南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)

○8月22日からの台風第10号

(2) 甲賀市水口町三本柳における浸水警戒区域の指定について

【滋賀県流域政策局】 資料 6

○「滋賀県流域治水の推進に関する条例」の第13条に基づき、3月18日に浸水警戒区域を指定

(3) 「個別避難計画」及び「福祉避難所開設・運営ガイドライン」の策定状況について

【地域共生社会推進課・危機管理課】 資料 7

○甲賀市版「誰一人取り残さない」防災・保健・福祉連携プロジェクト

(4) 令和6年度の防災関連の取り組みについて

①令和6年度 市総合防災訓練の結果報告 資料 8

○令和6年11月17日に土山体育館周辺で実施

②令和6年度 市災害時受援計画検証訓練の結果報告 資料 9

○令和7年2月13日に南海トラフ巨大地震(半割れ)発生を想定した訓練を実施

③災害協定締結報告(令和6年4月以降) 資料 10

○新規協定締結(3件)

④特設公衆電話・災害対応自販機の設置について 資料 11 資料 12

○特設公衆電話 新規設置(4か所) 災害対応自販機 新規設置(3か所)

⑤令和6年度 要配慮者利用施設における避難確保計画の取り組み状況について

資料 13

○要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練実施状況

⑥令和6年度 地域における防災訓練の企画・実施の取り組み結果について

資料14

○各地域の逃げ遅れゼロ作戦の実施状況

⑦令和6年度 出前講座の結果について 資料15

○出前講座の実施状況（全36件）

⑧令和7年度市総合防災訓練について 資料16

○令和7年11月16日（日） 甲賀地域で実施予定

(5) 避難所運営マニュアルを使用した訓練の実施例について 資料17 資料18

○令和6年12月7日に実施された油日自治振興会での訓練の概要

#### 《意見・質疑応答》

委員) 気象庁の情報やデータが使いにくいとの意見をいただいている。甲賀市は地域防災計画で進められているが、地区防災計画の策定状況は、どのようになっているのか。  
→ (危機管理課) 地域と調整中である。

委員) 地区防災計画は、地域特性での基準設定や地元企業の参画により効果が出る。その他、当該地域は前線が停滞している中で南側から台風が接近すると大災害になりやすい。

また、近年、想定以上の降雨があるが、滋賀県民は災害意識が低いことを懸念している。

台風などで学校休校の判断に困っていると学校から相談をされることがあり、会議を開くことがある。

避難所では女性が避難しにくいことから、女性目線での開設や情報共有が必要である。

委員) 出前講座において、36回、1,000人以上の参加があったが、参加された人数は多いのか少ないのか、どのように捉えているのか。

→ (危機管理課)

少ないものと認識している。参加者は、役員などが中心であることから、講座内において「他の人にも伝えてほしい」と呼び掛けている。

会長) その他ご意見ご質問がないため、異議なしと認め原案通り承認